

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業
IgG4 関連疾患の診断基準並びに治療指針の確立を目指した研究
分担研究報告書

IgG4 関連呼吸器疾患の診断基準の確立とその普及

研究分担者 松井祥子 富山大学保健管理センター 教授

研究要旨：呼吸器分科会では、H26 年度に最終的な IgG4 関連呼吸器疾患の診断基準案を提唱し、日本呼吸器学会のシンポジウムにおいて討論の上、日本呼吸器学会雑誌にて公表した。その診断基準の普及を目的として、分科会内で、鑑別疾患をふまえた評価を行う一方で、呼吸器診断基準の普及をめざして、日本呼吸器学会雑誌の英文誌にて公表した。

研究協力者：

山本 洋（信州大学医学部内科学第一講座）

源 誠二郎（大阪府立呼吸器アレルギーセンターアレルギー内科）

三島 理晃（京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学）

早稲田優子（金沢大学付属病院呼吸器内科）

共同研究者：

半田 知宏（京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学）

久保 恵嗣（長野県立病院機構）

A . 研究目的

「IgG4 関連疾患の診断基準並びに治療指針の確立を目指した研究」班呼吸器分科会において IgG4 関連呼吸器疾患診断基準を H26 年度に作成し、日本呼吸器学会誌に公表した。分科会内では、その検証を行う一方で、本診断基準の普及と検証を広く求めるために、英文にて公表を行う事を目的とした。

B . 研究方法

1) IgG4 関連呼吸器疾患 51 例および血清 IgG4 135mg/dl 以上でかつ胸部異常陰影を有する他疾患 25 例において、IgG4 関連呼吸器疾患診断基準を用いた検討を行った。

2) IgG4 関連呼吸器疾患診断基準を英文雑誌に投稿し、査読を経た後に公表した。
(倫理面への配慮)

後方視調査については、富山大学倫理審

査委員会における承認を得て行われた。

C . 研究結果

1) IgG4 関連呼吸器疾患 51 例を IgG4 関連呼吸器疾患診断基準における基準に照合すると、確定診断 46 例、準確診 2 例、疑診 0 名 否定 3 例となった。また他疾患 25 例は、すべて否定になった。感度・特異度は、各々 90.2%、100% であり、本診断基準は良好な結果であった。しかし、専門家による臨床・病理・画像の検討

(Multidisciplinary Discussion) により、IgG4 関連呼吸器疾患と考えられる呼吸器疾患単独症例は、確定診断ができにくい場合があることから、今後症例を重ねた検討が必要と考えられた。

2) 本診断基準の確立をめざし、前記 1) の結果をふまえた診断基準を英文雑誌 Respiratory Investigation に投稿し、受諾された。

D . 考察

IgG4 関連呼吸器疾患診断基準は、まだ公表されたばかりであり、今後の普及と検証が望まれる。

E . 結論

呼吸器分科会において提案し、日本呼吸器学会会員における公開討論の後、改訂した「IgG4 関連呼吸器疾患診断基準」を、日本呼吸器学会英文雑誌 (Respiratory Investigation) の査読を経て公表した。

F . 研究発表

1. 論文発表

1. Matsui S, Yamamoto H, Minamoto S, Waseda Y, Mishima M, Kubo K. Proposed diagnostic criteria for IgG4-related respiratory disease. *Respir Invest* DOI: <http://dx.doi.org/10.1016/j.resinv.2015.09.002>
2. Khosroshahi A, Wallace ZS, Crowe JL, Akamizu T, Azumi A, Carruthers MN, Chari ST, Della-Torre E, Frulloni L, Goto H, Hart PA, Kamisawa T, Kawa S, Kawano M, Kim MH, Kodama Y, Kubota K, Lerch MM, Löhr M, Masaki Y, Matsui S, Mimori T, Nakamura S, Nakazawa T, Ohara H, Okazaki K, Ryu JH, Saeki T, Schleinitz N, Shimatsu A, Shimosegawa T, Takahashi H, Takahira M, Tanaka A, Topazian M, Umehara H, Webster GJ, Witzig TE, Yamamoto M, Zhang W, Chiba T, Stone JH; Second International Symposium on IgG4-Related Disease. International Consensus Guidance Statement on the Management and Treatment of IgG4-Related Disease. *Arthritis Rheumatol*. 2015;67:1688-99.
3. 松井祥子. IgG4 関連疾患. *日サ会誌*. 2015 ; 35 : 47-49.
4. 久保恵嗣, 松井祥子, 山本 洋. IgG4 関連呼吸器疾患 . *日内会誌*. 2015 ; 104 : 1848-1852.

2. 学会発表

1. Matsui S, Yamamoto H, Handa T, Minamoto S, Waseda Y, Mishima M, Kubo K. Proposal for diagnostic criteria for IgG4-related respiratory disease. *ATS 2015 International Conference*; 2015 May 16-20; Denver.
2. 久保恵嗣, 松井祥子. シンポジウム「IgG4 関連疾患における最近の進歩～IgG4 関連呼吸器疾患」. 第 112 回日本内科学会講演会 ; 2015 Apr 10-12 ; 京都 .

3. 正木康史, 松井祥子, 川野充弘, 佐伯敬子, 坪井洋人, 平田信太郎, 宮下賜一郎, 折口智樹, 藤川敬太, IgG4 関連疾患研究グループ . IgG4 関連疾患に対する前方視的多施設共同治療研究 . 第 24 回日本シェーグレン症候群学会学術集会 ; 2014 Sep 18-19 ; 東京.

G . 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし